

第85回 東京都卸売市場審議会

東京都中央卸売市場経営計画 の進捗について

令和7年2月6日
東京都中央卸売市場

目次（第85回東京都卸売市場審議会資料）

令和6年度下半期の主な取組状況など 1

I 第84回審議会ですりまとめた「今後の重点的な取組等」を中心とした、進捗状況及び令和7年度の取組など

具体的かつ速やかに検討すべき課題 9

II 都の中央卸売市場が、“選ばれる市場”となり存続するため、具体的かつ速やかに検討すべき課題

進行管理表（個票） 13

III 経営計画に掲げた各施策について、進捗状況及び今後の課題など

参考資料：第84回卸売市場審議会資料「今後の重点的な取組等」	30
令和7年度予算案の概要について	31

I 令和6年度下半期の主な取組状況など

1 市場全体の機能の最適化と各市場の機能強化

1 今後の重点的な取組等（第84回審議会）

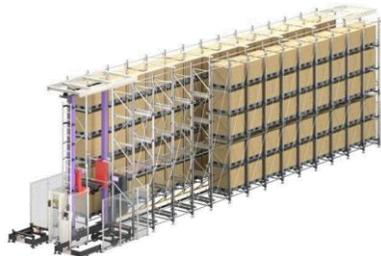
淀橋市場拡張整備事業や板橋市場の機能強化等の施設整備を着実かつ円滑に推進するとともに、市場全体の長期的な施設整備の方向性を見据えた検討に着手

2 前回審議会以後の主な取組状況

各市場の機能強化

淀橋市場拡張整備事業

- 令和6年11月に、市場業者と連携し、地域住民に対し、自動立体冷蔵倉庫の工事説明会を実施
- 来年度は、自動立体冷蔵倉庫の稼働と併せて無人搬送機（AGV）の運用を開始予定



【自動立体冷蔵倉庫】



【無人搬送機（AGV）】

【今後の整備スケジュール】

- 令和7年1月～11月 自動立体冷蔵倉庫等整備工事（発注者：市場業者）
- 令和8年度～ 新総合事務所棟（仮称）整備工事
- 令和11年度～ 現総合事務所棟解体工事

板橋市場の機能強化

- 今年度中の基本計画策定に向けて、整備の全体スケジュールを作成
- 来年度は、基本計画で策定する与条件をもとに、基本設計等を実施予定

【機能強化の方向性】

- ① 生鮮食品の品質管理向上
（コールドチェーン対応等）
- ② 取引先の需要への対応
（加工・パッケージ対応）
- ③ DX等による物流効率化
（トラック予約システム等）
- ④ 物流拠点化
（転送用エリアの確保）
- ⑤ ニーズ変化等への柔軟な対応
（スケルトンインフィル等）
- ⑥ 地域との共生推進
（食育・花育、防災機能強化等）

【今後の整備スケジュール】



3 令和7年度の主な取組（予算案等）等

- 淀橋市場では、業界施工の自動立体冷蔵倉庫が竣工するとともに、新総合事務所棟（仮称）の整備に向けた準備工事等に着手。また、板橋市場では、今年度とりまとめる基本計画に基づく基本設計に着手し、整備効果を早期発現するため、令和8年度に一部区画を先行して着工できるよう取組

- また、市場施設について、現在策定中の維持更新計画をもとに、

利用実態や財政計画との整合も図った長期的な施設整備の方向性を検討

- ・ 淀橋市場拡張整備事業 準備工事など 60百万円
- ・ 板橋市場機能強化事業 基本設計など 210百万円

2 市場施設の計画的な維持更新

1 今後の重点的な取組等（第84回審議会）

市場施設の利用実態や財政計画との整合性を図りながら維持更新計画を策定し、市場業務への影響等を考慮した市場毎の工事計画（マスタープラン）を検討

2 前回審議会以後の主な取組状況 維持更新計画の策定方針について

- 11市場の老朽化が進む既存の主要建物（52棟）の機能回復の計画。各建物は、建築、設備の部位毎に、耐用年数や劣化度調査の結果等も踏まえ、今後の維持更新計画を策定中
- 新耐震基準の建物や、躯体のコンクリート強度、鉄骨接合部、及び耐震性能が確保されている建物は、改修、長寿命化に分類し、継続して使用。既に基本計画等の計画がある建物は、改築に分類。改修・改築等の維持更新手法の方針を策定中

● 建物毎の維持更新計画【抜粋】

名称 (主要建物)	分類	2026年 3月末時点 経過年数	耐震 基準	年 度				
				2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
〇〇市場 青果棟	改修	37	新耐震	屋根、外壁、 サッシ、シャッター、 電源設備 改修		高圧変電設備 改修	高圧ケーブル、 照明設備 改修	高圧変電設備、 高圧ケーブル、 給排水衛生設備 改修



● 建物の部位毎の維持更新計画【抜粋】

計画年	更新基準年度	更新方針		
		1	2	3
防水	R3			
屋根	S63	改修		
外壁	S63	改修		
サッシ	S63	改修		
シャッター	スチールシャッター：S63他	改修		
高圧変電設備	S63			改修
高圧ケーブル	S63			
電源設備	R5他	改修		
照明設備	かぶ・たけのこ：H30他			
給排水衛生	S63			
昇降機	R2			

〇〇市場
青果棟
分類 改修
(新耐震：
維持更新施設)

3 令和7年度の主な取組（予算案等）等

- 施設の利用実態と財政計画との整合性を図りながら、市場施設の総量縮減も視野に、建物毎の維持更新計画を策定予定（令和8年度末までに、市場別の工事計画（マスタープラン）を策定）

3 強固で弾力的な財務基盤の確保

1 今後の重点的な取組等（第84回審議会）

「経営レポート」を活用し、業界と市場の活性化や経営改善策について継続的に意見を交換し、課題を共有しながら取組を推進

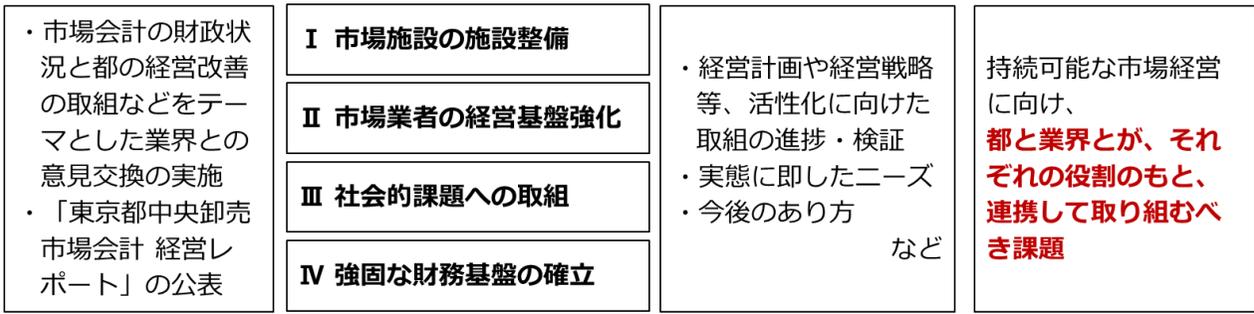
2 前回審議会以後の主な取組状況 第2回目の業界との意見交換を今後実施

前回の市場会計の財政状況と都の経営改善の取組などをテーマとした業界との意見交換に続き、市場の活性化に向け、今後の施設整備などについても、都と市場業者で課題を共有し取組を推進するため意見交換を今後実施

【業界との意見交換の進め方】

- 「市場施設」、「市場業者の経営」、「社会的課題」及び「財務基盤」を中心に、現状の共有を図り、実態に即した市場業者のニーズや自律的な取組などについて、**継続的に意見交換・検証**を行うとともに、今後のあり方を考え、**より実効性の高い取組に繋げていく。**

【これまでの実施状況】 → 【現状の共有（今回）】 → 【継続的な意見交換】 → 【課題の整理】



【令和5年度決算実績と財政収支計画】

区分	令和4年度			令和5年度		
	計画	決算	増減	計画	決算	増減
営業収益	162	152	▲ 10	164	163	▲ 1
営業外収益	38	42	▲ 4	37	42	▲ 5
収益計	200	194	▲ 6	201	205	▲ 4
営業費用	315	296	▲ 19	315	290	▲ 25
営業外費用	25	21	▲ 4	22	20	▲ 2
支出計	340	317	▲ 23	337	310	▲ 27
営業収支	▲ 153	▲ 144	9	▲ 151	▲ 127	24
経常収支	▲ 140	▲ 123	17	▲ 136	▲ 105	31
当年度末累積資金残	5,555	5,629	74	5,041	5,164	123

⇒市場維持管理費の縮減などの経営改善に取り組み、R5実績の経常収支では、財政収支計画を約31億円上回った

令和7年度の主な取組（予算案等）等

経営改善の取組の推進により一定の成果はあるが、さらなる経営改善に向けて、新たな収入確保策や民間経営手法の活用などの取組を着実に進めていく。

4 基幹的なインフラとしての機能の強靱化

(①公平かつ公正な取引環境の確保、②品質・衛生管理の徹底・強化、③事業継続体制の確保・強化、④D Xの推進等による市場業務の効率化、⑤サプライチェーンにおける結びつきの強化、⑥市場業者の経営基盤の強化)

1 今後の重点的な取組等 (第84回審議会)

市場業務の高度化・効率化に向けたD Xの推進、経営を取り巻く環境変化に市場業者が的確に対応できるよう支援策の実施

2 前回審議会以後の主な取組状況

品質・衛生管理の徹底・強化 (足立市場 衛生対策)

○卸売場

閉鎖され低温化されている大物卸売場や第二低温卸売場が整備されている一方、一部開放型となっている鮮魚卸売場を閉鎖型に改修

→令和6年11月に実施設計を完了し、令和6年度末より工事着工予定

■ 卸売場の現状



○仲卸売場

施設の老朽化が進んでいることから、品質衛生管理の改善に向け、売場の場内空きスペースへの移動(増築)を推進
→業界と連携しながら設計を実施

■ 仲卸売場の現状



令和7年度の主な取組 (予算案等) 等

市場業務の高度化・効率化に向けたD Xの推進 <市場施設の運営に係る強化・推進 (20百万円)>

人手不足が深刻化する中、持続可能な市場運営体制を確保していくため、先端技術の活用や長期的視点で施設・設備整備を図り、市場秩序の維持・場内管理業務の効率化を促進

- デジタル技術を活用した車両管理などを視野に入れ、市場の特性を踏まえた新たな場内警備のあり方を検討
- 機器・設備の選定と並行し、導入範囲の業界調整等、早期導入に向けた取組を推進

大田市場をモデルとした警備機器・設備の導入(例)



【警備ロボット】

【交通制御AI】

経営を取り巻く環境変化に市場業者が的確に対応できるよう支援策の実施 <経営強靱化推進事業 (500百万円)>

- 業務効率化や新たな販路開拓に向けたD Xの活用等、市場業者の意欲ある取組を後押しする。

5 市場取引の活性化に向けた取組の強化

(⑦物流の高度化・効率化、⑧商流の高度化・効率化、⑨多様な消費者ニーズへの対応)

1 今後の重点的な取組等 (第84回審議会)

先端技術等を用いた場内物流改善の推進、商流の高度化・効率化に向けた市場業者との意見交換や支援等の実施、市場整備を契機としたストックポイントとしての施設活用策の検討

2 前回審議会以後の主な取組状況 物流の高度化・効率化 (大田市場における物流対策)

通信基盤整備事業

- 令和6年10月に一部先行整備箇所にてWi-Fiサービスの提供開始
- 令和7年3月の「共同荷置場案内サービス」稼働開始までに、他の先行整備箇所へWi-Fiサービス提供予定

画像解析技術によるセキュリティ強化等調査

- 令和7年2・3月に画像解析技術を活用し、各門でのトラックの入退場(滞留)時間や道府県別の台数等を把握・検証

青果卸3社が共同開発中の「共同荷置場案内サービス」

引取る荷の置場を、買受人自身のスマートフォン等の端末で、システム照会
⇒ 荷の引取時間の短縮を実現

Wi-Fi先行整備箇所

令和6年10月～
令和7年2月～

ナンバープレート
検知・撮影

文字情報に
変換

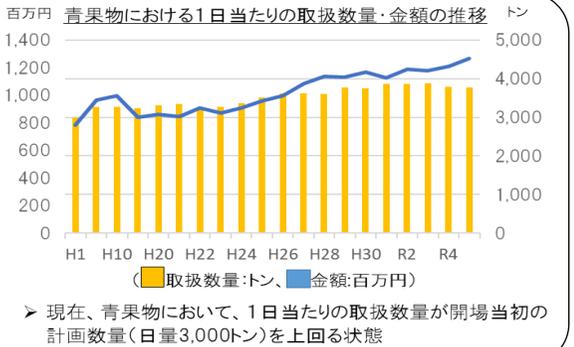
データ送信・検証

入場日時	ナンバー	退場日時
2024.12.12 0:30	岩手100 あ1111	2024.12.1 2 3:45
2024.12.12 0:33	...	2024.12.1 2 3:45

3 令和7年度の主な取組 (予算案等) 等

先端技術等を用いた場内物流改善の推進 <大田市場場内最適化事業 (35百万円)>
 狭隘化や場内混雑等、大田市場が抱える課題を踏まえ、市場用地の最適利用や物流効率化に向けた方策を検討し、更なる活性化を推進

- 荷捌スペース等の確保に向け、施設の利用状況、活用余地等を調査
- 市場会館跡地の利用用途などについて、業界と連携しながら市場用地の有効活用策を検討



6 市場事業のサステナブル化

(⑩市場のゼロエミッション化、⑪持続可能な調達等の取組、⑫地域社会との共生、⑬働き方改革・ダイバーシティの推進)

1 今後の重点的な取組等 (第84回審議会)

省エネ・再エネの一層の推進、ダイバーシティの推進に向けた労働環境の改善等

2 前回審議会以後の主な取組状況 市場のゼロエミッション化、地域社会との共生(市場まつりの開催について)

- 令和6年度は、コロナ禍前と同規模となる8市場において、市場まつりを開催
- 開場後初開催となる豊洲市場まつりでは、業界と連携して、市場内で発生した発泡スチロールをリサイクルして作った、食品容器を使った料理の提供や、キーホルダーを景品として配布するなど、リサイクルへの取組を都民にPR



(食肉市場まつり)



(豊洲市場まつり)



(豊洲市場内の発泡スチロール廃棄物(魚箱)を再資源化した容器・キーホルダー)



3 令和7年度の主な取組(予算案等)等

省エネ・再エネの一層の推進<再生可能エネルギーマネジメント事業(15百万円)>

市場のゼロエミッション化に向け、再エネ化の推進に実績・ノウハウがある電気事業者と、協定を締結し、建物の屋上の他、壁面などへの設置も想定した、太陽光発電設備導入ポテンシャルの測定や、有望な先進技術やサービスを市場施設において実証実験を行う。

【R7年度】

【R8年度】

【R9年度~】

- ・太陽光発電設備導入ポテンシャル測定
- ・先進技術の実証実験

太陽光発電設備を含めた再エネ調達方針策定

各市場へ設備設置等



Ⅱ 具体的かつ速やかに検討すべき課題

2 都の中央卸売市場が、「選ばれる市場」となり存続するために

- 引き続き、市場活性化の取組を推進することはもとより、現計画の取組について、市場業界との丁寧な意見交換を重ね検証を進めるとともに、**都の中央卸売市場の将来を見据え、今後の市場経営において整理すべき課題について、具体的かつ速やかに検討していく。**

今後の市場経営において、整理すべき課題（都の問題意識）

取引を支える市場施設の整備

老朽施設を適切に維持し安全性等を確保することはもとより、再整備に際しては、各市場の特性や財政状況等も踏まえながら、**市場流通全体の付加価値向上や強靱化につながるよう長期的な視点を持って方向性を検討し進める必要**

取引の担い手である市場業者の経営基盤強化

取引の活性化や業務効率化に向けたDXの活用など、従来の商慣習にとらわれない革新的かつ自律的な取組により、**多くの市場業者が経営力を高めることができるよう、市場業者のニーズを精査する必要**

より開かれた卸売市場（社会的責任の発揮）

生鮮品等の安定供給や食文化の継承等の役割を果たす卸売市場を、身近なものとして知ってもらう取組や、環境問題や災害対応等の社会的課題への積極的な取組など、**公共（基幹）インフラとしての重要性を一層高める検討が必要**

強固で弾力的な財務基盤の確保

業界との意見交換会や経営レポートの活用などにより、市場会計の現状認識を深めながら、**社会経済情勢にあった受益者負担のあり方や、市場経営の効率化に向けた具体的な方策など、より一層の検討が必要**

業界との継続的な意見交換 ・ 経営計画の取組の総括（検証）等

今後の取組方向性について、具体的かつ速やかに検討し、都の考えを整理

Ⅲ 進行管理表（個票）

1 中央卸売市場全体の機能の最適化と市場の機能強化	…P14	⑥ 市場業者の経営基盤の強化	…P22
2 市場施設の計画的な維持更新	…P15	⑦ 物流の高度化・効率化	…P23
3 強固で弾力的な財務基盤の確保	…P16	⑧ 商流の高度化・効率化	…P24
① 公平かつ公正な取引環境の確保	…P17	⑨ 多様な消費者ニーズへの対応	…P25
② 品質・衛生管理の徹底・強化	…P18	⑩ 市場のゼロエミッション化	…P26
③ 事業継続体制の確保・強化	…P19	⑪ 持続可能な調達等の取組	…P27
④ DXの推進等による市場業務の効率化	…P20	⑫ 地域社会との共生	…P28
⑤ サプライチェーンにおける結びつきの強化	…P21	⑬ 働き方改革・ダイバーシティの推進	…P29

Ⅲ-1 中央卸売市場全体の機能の最適化と市場の機能強化

【概要】

生鮮品等流通の基幹的なインフラとして都民の消費生活を支えていくため、個々の市場の機能強化を図るとともに、各市場が形成しているネットワークを強化し、市場全体として最適な機能を発揮していく。

【前回審議会までの報告事項】

- 淀橋市場拡張整備事業では、工事の円滑な実施に向け、令和6年7月に地域住民に対し事業概要の説明会を開催
- 板橋市場の機能強化では、昨年度まとめた基本構想に基づき、施設整備の具体的な内容を決める基本計画の策定に着手するとともに計画を実効性あるものにするため、業界と他都市の市場施設等の視察などを実施

【前回審議会以後の取組状況】

- 淀橋市場拡張整備事業では、自動立体冷蔵倉庫整備工事の円滑な実施に向け、令和6年11月に地域住民に対し工事説明会を開催し、令和7年1月より、市場業者による自動立体冷蔵倉庫の工事に着手
- 板橋市場の機能強化では、基本計画の策定に向けて、都と業界で構成する検討会で検討を進めており、令和7年1月に開催した青果部会において、施設配置計画について概ね合意

【進捗状況等（R6総括）】

- ・ 淀橋市場では、R6年度に拡張整備事業概要及び自動立体冷蔵倉庫整備工事について、地域住民に対し説明会を開催し、市場業者による工事に着手しており、概ね計画どおりに進捗
- ・ 板橋市場では、R6年度に基本計画の検討の中で、板橋市場の機能強化に向けた全体的なスケジュールを策定するとともに、基本設計に至る条件をとりまとめており、概ね計画どおりに進捗
- ・ R5年度包括外部監査における監査人からの意見も踏まえ、引き続き、市場全体の長期的な施設整備の方向性を見据えた検討が必要

【今後の取組等】

- ・ 引き続き、淀橋市場及び板橋市場において業界と連携し、機能強化を着実かつ円滑に推進
- ・ 長期的な施設整備の方向性について、財政状況、取引実態、活性化の状況、施設の状況から現状把握を行い、業界と意見交換・検証等を継続

（R7年度予算案状況）

- ・ 淀橋市場拡張整備事業
- ・ 市場物流イノベーション推進事業
- ・ 板橋市場機能強化事業基本設計 など

Ⅲ-2 市場施設の計画的な維持更新

【概要】

市場施設の老朽化への対応として、主要な個別の建物ごとの劣化度調査を実施し、調査の結果を踏まえ、改修、改築等の方針の検討を行い、建物毎の「維持更新計画」を策定する。

市場業務への影響がないよう配慮し、市場毎に工事を集中的に実施していくためのマスタープラン（全体計画）を策定し、計画的な維持更新を進める。

【前回審議会までの報告事項】

- 令和5年度は5市場（食肉、豊島、板橋、世田谷、北足立）の劣化度調査を実施
劣化度調査の結果を総括する。

【前回審議会以後の取組状況】

- 令和4年度、5年度にかけて実施した、全市場（豊洲市場を除く）の劣化度調査を基に、継続的に維持更新計画を進める建物と、改築等を進める建物に分類し、建物ごとの維持更新計画を策定中

【進捗状況等（R6総括）】

- ・ R4年度、5年度にかけて、全市場（豊洲市場を除く）の劣化度調査を計画どおり実施
- ・ 劣化度調査の結果を踏まえ、主要な個別の建物ごとの維持更新計画の策定中
- ・ 維持更新計画は、長期的な視点が必要であり、市場施設の「利用実態」及び「財政計画」との整合を図ることが不可欠
- ・ 包括外部監査人からは、中央卸売市場全体の機能を最適化する観点から、長期的なロードマップを可能な限り具体的に作成を検討することを要望

【今後の取組等】

- ・ 人口減少を見据え、財政上の厳しい制約から、長期的には、市場施設の規模の適正化を前提に、更新時期や財政負担の平準化を図りながら、計画的でメリハリのある維持更新が必要
- ・ 財政や施設利用などを踏まえながら、建物毎の維持更新計画を策定（R7）
- ・ 市場毎の工事計画（マスタープラン）を検討（R8）

Ⅲ-3 強固で弾力的な財務基盤の確保

【概要】

経常収支の黒字化に向けて、経営改善に取り組むとともに、将来を見据えて使用料のあり方を検討

【前回審議会までの報告事項】

- 市場会計の財政状況や都の経営改善の取組等について、全ての市場の業界との意見交換を実施
- 令和6年5月1日に「東京都中央卸売市場会計 経営レポート」を公表

【前回審議会以後の取組状況】

- 前回の市場会計の財政状況と都の経営改善の取組などをテーマとした業界との意見交換に続き、市場の活性化に向け、今後の施設整備などについても、都と市場業者で課題を共有し取組を推進するため意見交換を今後実施

【進捗状況等（R6総括）】

- ・ 経営改善の取組を進めるとともに、「東京都中央卸売市場会計 経営レポート」を公表し、財政状況等について全市場の業界との意見交換を実施
- ・ 市場会計の財政状況や経営改善に加え、市場の活性化などについて、2回目の業界との意見交換を今後実施
- ・ 経営改善の取組の推進により一定の成果はあるが、さらなる経営改善に向けて、新たな収入確保策や民間経営手法の活用などの取組を着実に進めていくことが必要

【今後の取組等】

- ・ 業界との意見交換や分析を実施し、経営レポートを作成（R6、7）
- ・ 現経営計画の実施状況や市場を取り巻く環境を踏まえた、新たな長期収支を試算（R8）
- ・ 業界との意見交換や、更なる経営改善の取組等により一層の検討を推進
- ・ 包括外部監査意見への対応

（R7年度予算案状況）

- ・ 業界との意見交換や経営レポートの実施に要する経費

Ⅲ-① 公平かつ公正な取引環境の確保

【概要】

取引参加者に対する指導監督を適切に実施するとともに、取引情報等の透明性確保などを通じて、公平かつ公正な取引環境を確保

【前回審議会までの報告事項】

- 市場業者への指導監督を通して得た取引に関する知見等を、その後の検査業務等に活用するとともに、令和4年度から指導監督に従事する職員を対象に「決算書を読み解くための基礎知識」や「不公正な取引事例に関する知見の共有」等、実務に即した研修を実施
- 環境負荷の軽減やSDGsの達成などにつながる企業行動を市場業者自らが点検することで、責任ある企業行動について自律的な改善につながるチェックリストの検討を実施

【前回審議会以後の取組状況】

- 引き続き取引業務巡回調査や検査等、取引参加者に対する指導監督を適切に実施するとともに、指導監督に従事する職員を対象とした研修について、受講生のアンケート結果等を踏まえ、今後の実施内容等を検討
- 環境負荷の軽減やSDGsの達成などにつながる企業行動を市場業者自らが点検することで、責任ある企業行動について自律的な改善につながるチェックリストを作成するとともに、各卸売業者への説明を実施中

【進捗状況等（R6総括）】

「適切な指導監督の実施」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
適切な指導監督の実施	適宜見直しの上、継続して実施				
効果的な指導監督手法の検討	研修等の充実	検討・実施（課題の抽出・分析、見直しの検討）			
調査・検査手法等の見直しの検討	検査マニュアル改訂	検討・実施（課題の抽出・分析、見直しの検討）			

【今後の取組等】

・引き続き、取引参加者に対する指導監督を適切に実施するとともに、担当職員のスキルの維持・向上を図るため、担当職員向けの研修について、実施時期や講義内容等を見直しながら着実に実施

（R7年度予算案状況）

・業務指導、現場取引業務査察、経理監査指導 など

Ⅲ-② 品質・衛生管理の徹底・強化

【概要】

品質・衛生管理の高度化を進め、食の安全を確保する。また、各市場の持つ個性や強みを踏まえつつ、時代とともに変化する産地や実需者、消費者が求める品質・衛生管理の水準に、柔軟に対応できる市場施設等を整備する。

【前回審議会までの報告事項】

- HACCPに沿った衛生管理の取組を支援するため、外部講師によるHACCP推進講習会（ワークショップ事業）を実施（今年度は葛西市場及び北足立市場で実施）
- 足立市場にて、令和5年度末に「衛生対策方針・基本計画」を策定し、令和6年9月に仲卸売場の設計に着手

【前回審議会以後の取組状況】

- 市場業者がHACCPに沿った衛生管理を適切に行えるよう、保健医療局と連携し食品衛生講習会を世田谷市場で実施（2月から3月にかけて、豊島市場、淀橋市場及び板橋市場で実施予定）
- 足立市場の衛生対策において、令和6年11月に卸売場の実施設計を完了し、令和6年度末より工事着工予定

【進捗状況等（R6総括）】

「HACCPに沿った衛生管理に係る検証等支援」をはじめ、計画記載の事項を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
HACCPに沿った衛生管理に係る記録の定着支援		記録の定着支援の実施			
HACCPに沿った衛生管理に係る検証等支援		衛生管理に係る検証等支援の実施			
第三者認証取得支援		実施			

【今後の取組等】

- ・ HACCPに沿った衛生管理の着実な実施に向け、引き続き、ワークショップ事業等を実施
- ・ 足立市場における衛生対策を着実に実施

（R7年度予算案状況）

- ・ 品質・衛生管理の強化に係るワークショップ事業
- ・ 足立市場衛生対策工事 など

Ⅲ-③ 事業継続体制の確保・強化

【概要】

首都直下型地震等の災害が発生した際、生鮮品等を安定的に都民に供給する基幹的なインフラとしての機能の継続性を確保するとともに、危機的な事態への万全な備えが講じられた「止まらない」中央卸売市場を実現

【前回審議会までの報告事項】

- 令和5年度までの調査結果を踏まえ、中央卸売市場BCPについて、東京都業務継続計画（都政のBCP オールハザード型Step.1）等の様々な公表物と照らし合わせを実施し、現行中央卸売市場BCPの乖離部分の洗い出しや課題の整理を実施している。
- 中央卸売市場BCP改訂委託の受託者とともに、各市場の職員とのワークショップを行い、各市場の現場における意見や課題を洗い出し、現行中央卸売市場BCPで改訂や具体化すべき部分の抽出を実施している。

【前回審議会以後の取組状況】

- 中央卸売市場BCPについて、風水害に対する業務継続計画を新たに追加するとともに、首都直下地震等による東京都の被害想定等の最新の情報を基に、地震に対する業務継続計画の見直しを実施（令和7年1月BCP改訂）
- 災害時の市場業務継続・連携強化に向けて、令和7年1月より、各市場の市場業者に対してBCP説明会を実施中

【進捗状況等（R6総括）】

R6年度は、R4・R5年度に実施した調査結果を踏まえ、計画のとおり中央卸売市場BCPの改訂を行い、業界への説明会を実施中。今後は、業務継続に向けた市場業者との連携を強化していく必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
リスクアセスメント調査等		11市場で調査実施	浸水シミュレーション等		
中央卸売市場BCPの改訂等（風水害等）			BCP改訂等	訓練実施・効果検証・BCPの見直し	
市場業者BCP策定支援		BCP策定状況調査	BCP策定支援・訓練実施・効果検証		

【今後の取組等】

- ・ R6年度に改訂した中央卸売市場BCPの実効性を高め、BCPの効果検証を図るため、市場業務継続（BCP）訓練を市場業者と連携して実施し、災害時における市場業務の早期復旧・継続を確保

（R7年度予算案状況）

- ・ 災害対策マニュアル（中央卸売市場BCP）運用訓練支援事業 など

Ⅲ-④ DXの推進等による市場業務の効率化

【概要】

行政手続や市場内における施設管理などにデジタル技術を積極的に活用し、効率的かつ効果的な市場運営を実現するとともに、市場業者の先端技術等を用いた取組を支援

【前回審議会までの報告事項】

- 大田市場において、カメラ映像の画像解析技術等を用いた車両入退場管理などの実証事業に向け、業界調整などを実施
- ICTを活用し、豊洲市場・大田市場の青果部において、せり動画を作成・配信済(令和6年3月)

【前回審議会以後の取組状況】

- 大田市場において、令和7年2・3月に画像解析技術を活用し、各門でのトラックの入退場（滞留）時間や道府県別の台数等の把握などを検証
- 大田市場の花き部において、花きのせり等を紹介する動画を制作中（令和6年度中公開予定）

【進捗状況等（R6総括）】

大田市場にて、車両入退場管理の事業化に向けて実証事業を実施予定。また、花きのせり等を紹介する動画を制作し、今後公開予定。引き続き、市場見学の展示物等の制作にあたり、最適なICT技術の選択について検討

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
管理運営業務の効率化・高度化		技術導入に向けた調査		事業構築等	
市場見学者の経験価値向上			先端技術の順次導入		
市場業者のデジタル技術の活用支援			市場業者との意見交換・情報提供		

【今後の取組等】

- ・ 大田市場において、画像解析技術を活用した実証事業の結果を踏まえ、課題を整理したうえで、事業化に向けて取り組んでいく。
 - ・ VR・AR技術を活用した見学コンテンツの検討・導入
 - ・ 事業者のDXの取組を支援
- （R7年度予算案状況）**
- ・ 市場施設の運営に係る強化・推進
 - ・ 画像解析技術によるセキュリティ強化等事業
 - ・ オンライン料理教室等・動画配信
 - ・ 経営強靱化推進事業
 - ・ 先端技術の活用等による業務効率化事業
- など

Ⅲ-⑤ サプライチェーンにおける結びつきの強化

【概要】

市場業者の産地や実需者とのサプライチェーン等での結びつき強化を支援し、基幹的なインフラとしての機能を強化する。市場業者が産地や実需者のニーズに対応できる環境を整備し、市場業者の集荷力・販売力を向上させる。

【前回審議会までの報告事項】

- 経営強靱化推進事業等により、市場業者の集荷力向上などの取組を支援
- 施設整備を契機とした取組として、板橋市場の基本構想において、取引先の需要に対応するための加工・パッケージエリアの整備等を機能強化の方向性に掲げるなど、実需者ニーズ等への対応を推進

【前回審議会以後の取組状況】

- 産地からの集荷力や顧客満足度の向上など、市場業者の自律的な取組を経営強靱化推進事業により引き続き支援
- 板橋市場の機能強化に向けた都と業界の検討会において、施設整備の具体的な内容を決める基本計画の検討を行い、実需者ニーズ等への対応を推進するため、加工・パッケージエリアや荷捌き場などの施設を充実させる配置計画を検討中

【進捗状況等（R6総括）】

「経営強靱化のための補助事業等」をはじめ、計画記載の2項目を中心に計画どおり実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
経営強靱化のための補助事業等	実施		見直し・再構築など		
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）	実施（情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等）				

【今後の取組等】

- ・ 経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施
- ・ 施設整備等を契機として、結びつきを強化する産地視察などを業界と連携して実施

（R7年度予算案状況）

- ・ 経営強靱化推進事業
 - ・ 経営アドバイザー事業
 - ・ 経営相談事業
- など

Ⅲ-⑥ 市場業者の経営基盤の強化

【概要】

経営強靱化推進事業等により、市場業者の経営基盤の強化に向けた取組など、行動変革を後押しするとともに、市場業者が社会経済情勢の変化に応じて、柔軟に対応できるよう、専門家と連携した情報発信や相談事業等を実施する。

【前回審議会までの報告事項】

- 令和6年度は経営強靱化推進事業において、物流対策枠や人材確保支援枠を新設し、市場業者の取組を後押し
- 経営相談事業等や専門家と連携した情報発信を実施
- 輸出への関心を高める市場業者向けの情報発信（パンフレット配布） など

【前回審議会以後の取組状況】（令和6年4月～）

- 経営強靱化推進事業による取組支援：販路拡大に向けた合同展示会の開催など190件の取組に対して支援
- 経営相談事業等の実施：経営改善に関する相談 外9件、専門家による定期訪問相談（54回132者）
- 専門家と連携した情報発信：オンライン経営セミナーの開催（3回）、市場業者向け情報誌の発行（2回）
- 輸出への関心を高める市場業者向けのオンラインセミナーを実施 ※令和7年1月24日時点

【進捗状況等（R6総括）】

「経営の専門家と連携した支援」をはじめ、計画記載の3項目を中心に計画通り実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施(情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等)				
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し・再構築など		
輸出力強化	支援事業	新規顧客開拓に向けた市場業者の取組の促進			

【今後の取組等】

- ・ 各種経営支援策の実施（経営相談、経営アドバイザリー、経営セミナー、情報誌発行等）
- ・ 輸出力強化に向けた市場業者の取組を支援するため、情報発信等を実施

（R7年度予算案状況）

- ・ 経営強靱化推進事業
- ・ 経営アドバイザリー事業
- ・ 経営相談事業 など

Ⅲ-⑦ 物流の高度化・効率化

【概要】

改正法施行に伴う輸送力不足等の影響など物流環境の変化がある中、パレットの標準化や運用ルール等を確立、先端技術を活用した場内荷役業務の省力化・自動化等を実施することで、場内物流の効率化を図る。また、集荷における幹線輸送への集約化やストックポイントとしての施設活用等を行い、物流の効率化を図る。

【前回審議会までの報告事項】

- 物流対策コンサルティング事業等を創設し、事業者の取組を支援
- 淀橋市場において、自動立体冷蔵倉庫の整備と自動搬送技術の導入に向けた検討
- 大田市場において、物流効率化に向けた業界の取組を支援するため、通信基盤としてWi-Fiの整備に着手
- 板橋市場の基本構想策定において、ストックポイントとしての施設活用等に向けた検討を実施し課題等とりまとめ

【前回審議会以後の取組状況】

- 物流対策コンサルティング事業では、令和6年12月より場内物流改善に係る相談やオンラインセミナーのアーカイブ配信を実施
- 市場物流イノベーション推進事業において、市場業者による場内物流効率化の取組を後押し。令和7年1月より市場業者にて、自動立体冷蔵倉庫工事に着手
- 大田市場において、令和6年10月から先行整備の一部の箇所にてWi-Fiサービスの提供を開始。令和7年2月に、本年度の先行整備のすべての箇所において、Wi-Fiサービスの提供を開始予定

【進捗状況等（R6総括）】

R6年度は、イノベーション推進事業にて、自動搬送等の物流効率化を図る取組を後押しするなど、計画通り実施。今後も物流環境の変化に即した支援の継続・取組が必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
自動搬送等の導入による場内物流の効率化等の推進	調査	導入に向けた検討、一部の市場で先行実施			
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し・再構築など		

【今後の取組等】

- ・ 市場業者の物流効率化に向けた取組を引き続き支援
- ・ 施設の拡張整備にあわせて、先端技術を活用した市場の物流高度化・効率化を図る推進事業を継続
- ・ 大田市場において物流効率化に向け場内通信環境を引き続き改善

（R7年度予算案状況）

- ・ 市場物流効率化推進事業 ・ 市場物流イノベーション推進事業
- ・ 大田市場通信基盤整備事業 ・ 大田市場場内最適化事業
- ・ 経営強靱化推進事業 など

Ⅲ-⑧ 商流の高度化・効率化

【概要】

商取引のデジタル化に係る市場業者の意識啓発や支援を行うため、ICTなど先端技術や取引情報の活用に係る課題や事例の調査を行うとともに、調査結果を踏まえ市場業者とも連携しながら先端技術の導入を推進

【前回審議会までの報告事項】

- 経営強靱化推進事業により、市場業者の商取引のデジタル化に向けた取組を支援
- 経営相談事業等や専門家と連携した情報発信を実施

【前回審議会以後の取組状況】

- 受発注システムの導入など、商取引のデジタル化につながる市場業者の取組を経営強靱化推進事業により支援
- DXの専門家による、「デジタル化の進め方」をテーマとしたオンライン経営セミナーを令和6年11月に実施
- 商取引のデジタル化に向け、一部の市場業者と意見交換会を実施

【進捗状況等（R6総括）】

商取引のデジタル化に資する取組の情報共有や、各品目それぞれの状況を考慮しながら、市場業者と意見交換を実施

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
「商取引のデジタル化」、 「取引情報の活用推進」調査	業界と共同で検討		検討・試行・検証など		
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し・再構築など		
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施（情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等）				

【今後の取組等】

- ・ 商取引のデジタル化について、業界との意見交換等を継続するとともに、それを踏まえた具体的な実効性について検証
- ・ 経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施

（R7年度予算案状況）

- ・ 経営強靱化推進事業
 - ・ 経営アドバイザー事業
 - ・ 経営相談事業
- など

Ⅲ-⑨ 多様な消費者ニーズへの対応

【概要】

多様な消費者ニーズに市場業者が対応できるよう、市場業者による新たな販路開拓や市場の強みを生かした付加価値が提供できる環境を整備する。

【前回審議会までの報告事項】

- 板橋市場の基本構想策定にて、ストックポイントとしての施設活用等に向けた検討を実施し、課題等を取りまとめ
- 物流の分散化のほか、特色ある商流の創出に向けて市場間ネットワーク形成に関する調査を実施

【前回審議会以後の取組状況】

- 板橋市場の機能強化に向けた基本計画の策定においては、ストックポイントとしての施設活用等も視野に入れた施設配置案を検討中
- 板橋市場の物流拠点化に向けて、青果卸売業者が有機農産物のハブ拠点を形成する実証事業を開始

【進捗状況等（R6総括）】

卸売業者による実証事業の開始で取組事例が創出されており、概ね計画どおりに進捗。今後は、当該事業に対する協力や各市場への事例共有などにより、市場間ネットワークの形成を促進することが必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
ストックポイントとしての活用策等に向けた調査等	調査	事例共有・実施			
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し・再構築など		
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施（情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等）				

【今後の取組等】

- ・ 各市場の特性等を踏まえた取組として、板橋市場において、転配送機能の強化を図るストックポイントとしての施設活用を引き続き検討
- ・ 経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施

（R7年度予算案状況）

- ・ 経営強靱化推進事業
 - ・ 経営アドバイザー事業
 - ・ 経営相談事業
- など

Ⅲ-⑩ 市場のゼロエミッション化

【概要】

中央卸売市場では、電力を大量に消費する施設や設備が多いことから、環境負荷低減の取組を推進していくことが必要となっている。そこで、再生可能エネルギーによる電力調達や省エネルギー対策を推進するとともに、市場業者の小型特殊自動車のZEV化促進や発泡スチロール製容器の国内リサイクル等の取組を行う。

【前回審議会までの報告事項】

- 環境負荷低減の取組を推進していくため、省エネ型グリーン冷媒機器へ更新する市場業者に対する補助事業や、個々の市場業者向けの省エネ診断やセミナー・相談会を継続的に実施

【前回審議会以後の取組状況】

- 各市場における照明器具のLED化を計画的に実施
- グリーン冷媒機器普及促進事業（補助事業）の実施（交付決定20件）※1月末現在
- 個々の市場業者向けの省エネ診断およびセミナー・相談会の実施（省エネ診断6件、セミナー1回）※1月末現在

【進捗状況等（R6総括）】

照明器具のLED化やグリーン冷媒機器普及促進事業等を実施。引き続き、再生可能エネルギーの調達率引き上げ等、市場のゼロエミッション化に向けた取組が必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市場施設における環境負荷低減に向けた施策・整備	LEDなど、環境負荷低減に資する設備の導入				
小型特殊自動車のZEV化	調査	充電設備の増設			
発泡スチロール製容器の国内リサイクル等への取組	調査	事例共有、リサイクル推進策の検討・実施			

【今後の取組等】

- ・再生可能エネルギーの更なる導入検討
- ・照明器具のLED化の着実な推進
- ・グリーン冷媒機器普及促進事業等の推進
- ・市場内の充電設備の増設
- ・発泡スチロール製容器の国内リサイクルに向けた調整

（R7年度予算案状況）

- ・再生可能エネルギーマネジメント事業
- ・照明器具のLED化
- ・グリーン冷媒機器普及促進事業 など

Ⅲ-(11) 持続可能な調達等の取組

【概要】

水産エコラベルについて、積極的に情報発信を行い、サステナブルな社会の実現に向けた取組を促進する。商品の売切りはもとより、規格外の生鮮品等を販売に結び付ける取組により、食品ロスを削減する。

【前回審議会までの報告事項】

- 水産エコラベルに関する消費者理解を深めるためのPRパネル等を制作し、多くの来場者が見込まれる豊洲市場まつりなどで展示、訴求するなど、積極的に情報発信していく。
- 各市場に、食品ロス削減の認知度向上を図るパンフレットを配布

【前回審議会以後の取組状況】

- 水産エコラベルに関する消費者理解を深めるため、豊洲市場まつりにおいて水産エコラベルのPRパネルを制作・展示し、積極的な情報発信を実施
- 市場まつり（開催8市場）において、食品ロス削減の認知度向上を図るパンフレットを配布

【進捗状況等（R6総括）】

多くの方が来場する豊洲市場まつりを通じた水産エコラベルの認知度向上にかかる取組を実施。引き続き、認知度向上を図る継続的な取組が必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市場まつりや各種講習会を通じた水産エコラベルの認知度向上	関係団体との調整、市場まつり等での普及活動、効果検証				
経営強靱化のための補助事業等【再掲】	実施		見直し・再構築など		
食品ロス削減への取組	調査分析	事例共有・取組支援			

【今後の取組等】

- ・ 消費者の意識を高めるため、「海の豊かさを守ろう（SDGs）」の取組の紹介や、水産エコラベルの認証水産物を活用した食育教室を検討
- ・ 経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施
- ・ 食品ロス削減の事例共有により、取組を支援

（R7年度予算案状況）

- ・ 経営強靱化推進事業
- ・ 食育講習会等の開催にかかる経費 など

Ⅲ-⑫ 地域社会との共生

【概要】

多様な食材の魅力や豊かな食文化などを地域に発信する情報拠点としての機能を発揮し、地域住民との交流促進を行い、地域との共生を推進する。生鮮品等に対する都民の理解醸成や健全な食生活の実践に貢献する。

【前回審議会までの報告事項】

- 令和6年度は、開場後、初開催となる豊洲市場をはじめ、8市場において、市場まつりを開催（予定）
- 都民が子育てしやすい環境を食の面から支援していくため、2本の食育動画を作成・公開（令和6年3月）
- ICTを活用し、豊洲市場・大田市場の青果部において、せり動画を作成・配信済(令和6年3月)

【前回審議会以後の取組状況】

- 開場後、初開催となる豊洲市場まつりをはじめ、8市場において、市場まつりを開催
- 食育・花育教室を5市場において開催予定（令和6年度中）
- 大田市場の花き部において、花きのせり等を紹介する動画を制作中（令和6年度中公開予定）

【進捗状況等（R6総括）】

コロナ禍以前の水準となる8市場において市場まつりを開催。引き続き、市場業界と連携しながら、各市場の特色を生かした市場まつりの開催を推進

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市場まつり	実施方式検討	事業実施、効果検証		事業実施	
食育・花育等講習会	実施方式検討	事業実施、効果検証		事業実施	
ICTによる活動	コンテンツ検討	事業実施	効果検証、コンテンツの改善、事業実施		

【今後の取組等】

- ・ 食育講習会等の開催(水産資源や環境に配慮した食材の使用を検討)
- ・ 食育等についてのオンラインセミナーの実施

（R7年度予算案状況）

- ・ 市場まつり開催にかかる経費
- ・ 食育講習会等の開催にかかる経費
- ・ オンライン料理教室等・動画配信 など

Ⅲ-⑬ 働き方改革・ダイバーシティの推進

【概要】

中央卸売市場において、作業時間の分散化など、業務全体の最適化が図られるよう働き方を見直すとともに、労働環境の整備を図る。また、多様な人材が働くことのできる環境の整備を行う。

【前回審議会までの報告事項】

- 令和6年度に経営強靱化推進事業において「人材確保支援枠」を新設し、労働環境の整備等、市場業者の働き方改革の実現に資する取組を支援
- 経営相談事業等や専門家と連携したオンライン経営セミナー等の情報発信を実施

【前回審議会以後の取組状況】

- 経営強靱化推進事業により、労働環境の整備等、働き方改革の実現やダイバーシティの推進に資する市場業者の取組を支援
- 淀橋市場において、総合事務所棟の建替えに当たり、労働環境改善の観点から、設備・機能強化を検討中

【進捗状況等（R6総括）】

各項目は計画どおり実施中。引き続き、市場業者の労働力確保が困難な現状等を踏まえ、誰もが働きやすい環境の整備等、ダイバーシティの取組の推進が必要

項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
休開市における取組の検討	調査	市場業界と協議の上、適宜実施			
経営の専門家と連携した支援（情報発信、相談事業等）【再掲】	実施（情報誌、セミナー、相談事業、アドバイザー等）				

【今後の取組等】

- ・ 経営強靱化推進事業や経営相談等の支援策を実施

（R7年度予算化状況）

- ・ 経営強靱化推進事業
 - ・ 経営アドバイザー事業
 - ・ 経営相談事業
- など

【参考】【今後の重点的な取組等について】

第84回審議会では、東京都中央卸売市場経営計画の計画期間（令和4年度～8年度）が折り返しを迎えたことから、計画策定後の環境変化も踏まえ重点的に進めていくべき取組をとりまとめた。

- 令和8年度末に向け、経営計画の取組を着実に進めることはもとより、今回の進捗確認により明らかになった課題への対応や **計画策定後の環境変化を踏まえた取組を、重点的に進めていく。**

現計画のうち、
加速すべき取組



【計画策定（R4. 3）後の社会経済情勢等の主な環境変化】

- ・ 不安定な国際情勢に端を発したエネルギー問題や物価高騰（R4. 12）
- ・ 新型コロナウイルス感染症の5類移行（R5. 5）
- ・ 包括外部監査人からの指摘・意見（R6. 1）…資料40頁
- ・ 物流2024年問題による輸送力低下への懸念（R6. 4）…資料39頁

スピード感を持って取組を着実に推進

市場経営の基本的な考え方（都の3つの立場）

市場全体の機能の最適化と
各市場の機能強化

- ▶ 淀橋市場拡張整備事業や板橋市場の機能強化等の施設整備を着実かつ円滑に推進するとともに、**市場全体の長期的な施設整備の方向性を見据えた検討**に着手

市場施設の計画的な維持更新

- ▶ 市場施設の利用実態や財政計画との整合性を図りながら維持更新計画を策定し、市場業務への影響等を考慮した市場毎の工事計画（マスタープラン）を検討

強固で弾力的な財務基盤の確保

- ▶ 「経営レポート」を活用し、業界と市場の活性化や経営改善策について継続的に意見を交換し、課題を共有しながら取組を推進

市場の活性化に向けた取組の推進

基幹的なインフラとしての機能の強靱化

- ▶ 市場業務の高度化・効率化に向けたDXの推進、**経営を取り巻く環境変化に市場業者が的確に対応できるよう支援策の実施**

市場取引の活性化に向けた取組の強化

- ▶ 先端技術等を用いた**場内物流改善の推進**、商流の効率化・高度化に向けた市場業者との意見交換や支援等の実施、市場整備を契機としたストックポイントとしての施設活用策の検討

市場事業のサステナブル化

- ▶ **省エネ・再エネの一層の推進**、ダイバーシティの推進に向けた労働環境の改善等

こうした取組を進めるとともに、業界との意見交換等を通じて、その進捗や成果を検証し、次期経営計画の策定などにつなげていく。

(参考) 令和7年度予算案の概要について

1 中央卸売市場会計

【編成の考え方】

令和7年度は、経営計画に掲げる取組を着実かつ確実に進めることはもとより、生鮮品等流通における輸送力不足や人材確保の困難等に加えて、激甚化する風水害への備えなど、市場を取り巻く環境が変化する中であっても、生鮮品等流通の基幹的なインフラとしての役割を果たしていくための取組を推進する予算を編成し、新たな課題にも対応

【主要事業】

① 市場取引の活性化に向けた取組の強化

- ・市場物流効率化推進事業【新規】(20百万円)
- ・経営強靱化推進事業(500百万円)

② 基幹的なインフラとしての機能の強靱化

- ・先端技術の活用等による業務効率化事業【新規】(12百万円)
- ・市場施設の運営に係る強化・推進【新規】(20百万円)
- ・災害対策マニュアル運用訓練支援【新規】(12百万円)

③ 市場事業のサステナブル化

- ・再生可能エネルギーマネジメント事業【新規】(15百万円)

④ 市場施設の計画的な維持更新及び市場機能の強化

- ・淀橋市場拡張整備事業(60百万円)
- ・板橋市場機能強化事業(210百万円)
- ・各市場施設の建設改良事業(6,229百万円)

【令和7年度予算規模】

(百万円)

収益的収入	22,736	資本的収入	347
収益的支出 a	42,709	資本的支出 b	139,314
差し引き	△19,973	差し引き	△138,967
		支出総額 a+b	182,023

2 と場会計

【編成の考え方】

芝浦と場を適切かつ安定的に運営するとともに、必要な施設整備等を着実に進めていく。

【主要事業】

と場施設衛生等改善工事
(1,438百万円)

【令和7年度予算規模】

(百万円)

歳入	7,269
歳出	7,269